

子宮頸がんワクチン接種ご希望の患者さまへ

今年度から子宮頸がんワクチンの公的負担による接種が開始されます。

当院では、このワクチン対象者で接種を希望される方は、下記についてご理解の上**予約制**で受け付けを行います。

- ◆ 小児科外来・・・今年小学校6年生から中学校3年生
- ◆ 内 科 外 来・・・今年高校1年生とキャッチアップの対象者（平成9年度生まれから平成17年度生まれで過去接種を行っていない方、もしくは子宮頸がんワクチンは合計3回接種のところ、過去1～2回接種しかしていない方）
- ◆ 持 ち 物・・・自治体からの予診票（記入をしてきてください）、母子健康手帳
- ◆ 予約・お問い合わせ：14：00～16：00

- ① 接種希望の方は、市町村からの説明文書をよく読んでいただき、子宮頸がんワクチンについてご理解の上、ご予約をお願いいたします。（厚生労働省ホームページ：子宮頸がんワクチンまたは、キャッチアップ接種のご案内をご参照下さい。<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>）
- ② 自治体負担で行える子宮頸がんワクチンには2種類あります。特にご要望がない場合は、内科ではガーダシルを使用します。しかしながら、これまで子宮頸がんワクチンを1回でも接種したことがある方は、過去使用したものと同一ワクチンを使用しなければならないため、必ず予約時にその旨をお伝え下さい。
- ③ ワクチン接種当日は、自治体からの予診票を記入し、母子健康手帳も必ず一緒にお持ち下さい。接種後30分間は副反応確認のため経過を見させていただきますので、時間に余裕をもって受診していただくようお願いいたします。
- ④ サーバリックスは、初回接種日から1ヶ月後に2回目、初回から6ヶ月後に3回目の接種を行います。
ガーダシルは、初回接種日から2ヶ月後に2回目、初回から6ヶ月後に3回目の接種を行います。
2剤とも1年間で3回の接種を行う事が標準接種スケジュールとされています。当院で初回接種日に、この接種スケジュールに基づき、2回目、3回目の接種日の予約を行うことをあらかじめご了承下さい。また予約日を変更したい場合や接種のキャンセルは、必ず電話をお願いいたします。
- ⑤ 今回、定期接種のお知らせをいただいた方の中で、大北圏内以外の市町村から接種のお知らせを受け取られた方（大北圏内以外に住所変更をしている方等）は、あらかじめ接種通知元の自治体に、当院での接種が可能であるかどうかをお問い合わせ下さい。確認いただけない場合は、実費負担となってしまうことや接種できないことがあります。
例）県外の大学に在学中で、その自治体への住所変更をしており、そちらの自治体からお知らせが届いたが、夏休み帰省中に当院で接種したい場合など。
- ⑥ 定期接種に該当しない方でも任意接種を希望される場合は、接種することは可能です。但し、接種費用は全額自己負担となりますので、詳細について知りたい方は、お問い合わせ下さい。